

地域のベストバンクへ

当金庫は、持続可能な社会の実現に向けて環境への配慮や社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。社会課題を起点に本業に取り組み、問題提起から課題解決に至るまで、金庫が持つ情報発信力・課題解決力を発揮し、地域社会の持続的発展や企業価値の発掘と向上に努めることで全てのステークホルダーと「ともに成長」をめざしています。

あましんグリーンプレミアム
第1回から第15回の応募総数

2,059件

第15回
あましんグリーンプレミアム
応募件数

202件

[Message]

世界的なビッグイベントを機に、
地域とともに環境問題を考える。

サステナブル推進部 部長 岡田 博行

あましんは、昨年のおおさか・くわんせいばんぱくに出席しました。地域の環境保全活動にスポットを当てる、あましんグリーンプレミアムの受賞者11社・団体との共同出展は、ステージ発表と展示で構成。準備には1年半の期間を費やしました。この間、印象に残ったのが企業と企業、企業とあましんとの関係性の深化。アプローチは異なるものの、環境問題への思いを同じくするプレイヤー同士で共創する機運が高まったことは、大きな前進です。万博というビッグイベントをきっかけに、こうした動きをさらに加速させていきます。



地域経済の活性化と持続的発展

神戸大学×あましん 第3回共同研究成果発表・シンポジウム開催

2025年7月15日、神戸大学経済経営研究所と公開シンポジウム「共創するESG地域金融・信用金庫の連携による実践知の共有」を開催しました。当金庫は、ESG（環境、社会、ガバナンス）要素を考慮した事業性評価・支援体制の構築をめざし、2022年度から同大学と共同研究を進めています。3回目となったシンポジウムでは、当金庫のESG地域金融の促進と広域連携の取り組みについて報告したほか、お取引先とともにESG対話シートを活用した支援事例を発表しました。また、川崎信用金庫、浜松いわた信用金庫、福岡ひびき信用金庫と「しんきんESG広域連携協定」を締結しました。



「しんきんESG広域連携協定」を締結

当金庫は、地域ESG推進モデルの横展開の一つとして、2024年9月から兵庫県外の3信用金庫（川崎、浜松いわた、福岡ひびき）とESG支援の知見を共有し、地元企業の伴走支援に活用しています。地域を超えた信用金庫によるESG広域連携の協定締結は初めての取り組みであり、それぞれの信用金庫のESGに関する支援事例や課題などを共有し、環境や社会に対するポジティブインパクトの創出に努めています。



大阪・関西万博 「TEAM EXPOパビリオン」でステージ発表

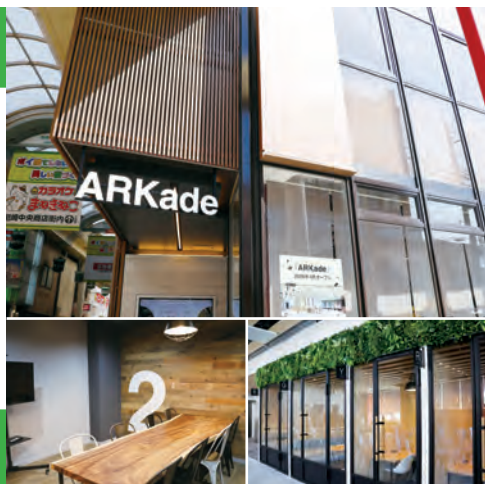
2025年7月16日、大阪・関西万博のTEAM EXPOパビリオン展示エリアで、あましんグリーンプレミアムの受賞者11社・団体とともにステージ発表を行いました。このステージ発表は、グリーンプレミアムを通して深めてきた地域・お客さま・役職員とのつながり、環境問題に対する意識、地元企業や地域の皆さまの取り組みや想いを発信し、明るい未来社会につながる共創が生まれることをめざして行ったものです。参加企業・団体の皆さまはステージ発表に加えてブース出展も行い、製品や活動の魅力、グリーンプレミアムを通じた事業展開などを紹介。来場者へのPRとともに出展企業間の交流を深めていただける機会となりました。



オープンイノベーション拠点「ARKade」オープン

2026年4月3日、地域の事業者の新規事業の創出やスタートアップの立ち上げを支援するオープンイノベーション拠点「ARKade（アーケード）」を開設しました。阪神尼崎駅近くの尼崎中央商店街に位置する当金庫の旧中央支店をリノベーションした「ARKade」は、コワーキングスペースやミーティングルームなどの多彩な機能を備えた施設です。「ものづくりするなら尼崎」のシンボルとして、世代を超え、学生、起業家、クリエイター、ものづくり企業などが集まる場所になることをめざしています。当金庫は、同施設を尼崎市へ無償で貸し出し、オープンイノベーションコア尼崎（OIC）が施設を運営します。

【住所】兵庫県尼崎市神田中通2丁目27番地
【ご利用時間】10時～21時（土曜・日曜・祝日および年末年始を除く）



魅力ある地域社会づくりへの貢献

地域貢献活動

あまちゃん・しんちゃんプロジェクト

創業90周年を機に地域や自治会の皆さまのニーズ（地域の課題）にお応えし、より地域との連携を深めるために「本業のひとつとして能動的に参画する活動」をめざしてスタートした「あまちゃん・しんちゃんプロジェクト」。地域における課題が多様化するなか、これまでの活動で得た地域とのつながりを活かし、より実効性の高いアプローチへと深化させていくため、「当金庫が主体となった活動」「支店間連携・広域化」などを意識した取り組みを推進しています。



未来を担う子どもたちにデジタルブックを寄贈

2025年12月22日、当金庫は「SDGs応援融資」の取り組みの一環として音声付きの動く絵本など14冊の電子書籍を伊丹市へ寄贈しました。

今回寄贈の電子書籍は、兵庫県下で初めて開館した「伊丹子ども電子図書館」で閲覧できるコンテンツとして追加され、子どもたちの意欲的な学びの促進に役立てられています。

SDGs応援融資

当金庫では2019年10月から、お取引先のSDGsやカーボンニュートラルへの取り組みを資金面からサポートする「SDGs応援融資」を取り扱っています。この商品では、取り扱い実績に応じて、SDGsの趣旨に賛同し地域課題の解決に寄与されている組織、団体などへ寄付を行っています。

金融教育への取り組みについて

当金庫は地域の皆さまの金融リテラシー（知識）向上のため、学校などを訪問し、小学生から高校生までを対象とした金融教育を実施しています。開始以来延べ117校、約10,500人の児童・生徒の皆さんが参加しています。（2026年3月末現在）

■ あましん「おかね寺子屋」

未来を担う子どもたちに「金融の基礎知識やお金のお金さ」を学んでもらうための金融プログラムを実施しています。当金庫の職員が地域の小中学校に向いて、「働くこと、貯蓄することの大切さ」などを分かりやすく解説しています。

■ あましん金融経済教育セミナー

地域の高校生を対象に「卒業後、安全で豊かな人生を送るための第一歩」として金融や経済の知識を身につけてもらうため「お金を借りる」「資産運用」「お金のトラブル」などを主な内容としたセミナーを開催しています。



芸術・文化・スポーツの振興

世界の貯金箱博物館

世界62カ国、25,000点を超える貯金箱を収蔵する世界最大級の貯金箱博物館。尼崎にひとつの“文化の器を”との思いから、1984年4月にオープンして以来、地域の皆さまをはじめ県内外の貯金箱ファンの皆さまに愛されています。



尼信会館

2001年6月、創業80周年記念事業の一環としてオープンした尼信会館。館内の「城下町尼崎展」では、国の重要文化財「太刀銘守家」など、歴史的に貴重な資料を展示。また「コインミュージアム」では、当金庫が保有する世界170カ国の金貨・銀貨等を展示しています。随時特別展を開催しますので、ぜひご来館ください。

一般財団法人 尼信地域振興財団

1978年1月に当金庫が基金全額を出資して設立した尼信地域振興財団は、地域の皆さまの長年にわたるご愛顧に感謝し、財団の活動を通じて青少年の育成、地域文化の振興など、地域に根ざした活動を行うことを目的としています。

2025年度の助成は約710万円（38件）、寄付は250万円（1件）。設立からの助成総額は7億9,200万円、寄付総額は4,000万円となっています。



あましんサッカー大会

創業70周年記念事業として、1991年にスタートしました。当金庫は、サッカー大会の定期開催を通じて、地元阪神間の子どもたちのふれあいの場を広げ、技術の向上、将来の夢の実現のお手伝いをしています。



尼信ブラスフェスティバル

創業80周年記念事業の一環として、2001年11月にスタートしました。毎回たくさんの吹奏楽ファンにお楽しみいただいています。



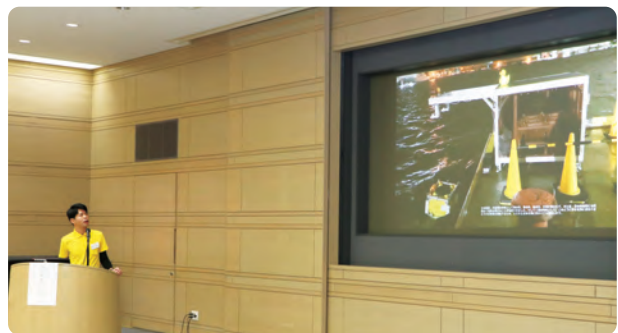
環境保全の永続的な取り組み

あましんグリーンプレミアム

「あましんグリーンプレミアム」は、環境改善に寄与する地域の皆さまの優れた技術や製品・工法、取り組みやアイデアにスポットをあて表彰する制度で、新技術の開発や環境文化の創造につながることを願い、2011年に創設しました。

第15回「あましんグリーンプレミアム」では、2025年5月26日から7月25日までの間に環境事業部門・環境活動部門で募集を行い、201先から202件の応募をいただきました。

1次・2次の書類選考とプレゼンテーションによる最終選考の結果、最優秀賞には波の揺れで生まれる海洋エネルギーを利用した浮体式波力発電設備を開発するYellow Duck株式会社様が選ばれました。



あましん緑のプロジェクト

当金庫は、地元企業として環境保全活動に積極的に取り組むため〈あましん緑のプロジェクト〉を立ち上げ、尼崎市沿岸の国道43号線以南の臨海地域に緑豊かな環境をつくり、人と自然の共生をめざす兵庫県の「尼崎21世紀の森づくり」に2010年から参画しています。

10年かけて植樹するという大きな節目を終え、2022年からは除草・間伐活動など森を育てる育樹活動に取り組んでいます。

信用金庫で初めて「生物多様性のための30by30アライアンス」へ参加

2025年12月3日、当金庫は生物多様性保全に向けた取り組みとして環境省が主導する「生物多様性のための30by30アライアンス」に信用金庫として初めて参加しました。30by30アライアンスは、2030年までに生物多様性の損失を食い止め、回復させる（ネイチャーポジティブ）というゴールに向け、2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標です。本アライアンスは、国の機関だけでなく、企業や自治体、国民が力を合わせて達成することをめざしています。

当金庫が育樹活動を行う「尼崎の森中央緑地」は、2023年11月に民間の取り組み等によって生物多様性の保全が図られている区域「自然共生サイト」に認定されています。当該エリアでの森づくり活動を継続的に支援するため、当金庫は本アライアンスに加盟するとともに、生物多様性保全に向けた取り組みをさらに推進してまいります。